

児童発達支援

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表日：2022年2月10日

事業所名：ハッピーキッズ

対象人数（保護者）24人 回答者数 15人 回収 62.5%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	1	0	・指定基準のはクリアしているものの、できる運動遊びも限られます。 今後、コロナ感染状況に配慮しながら、戸外活動も計画していきたいと思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1	1	・県の指定基準に適合しています。
	3 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じて設備等はバリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされているか	14	1	0	・アコーディオンカーテンやパーテーションなどで仕切っています。児童のその日の状態などで位置を変えりなどして対応しています。
	4 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	1	0	・新型コロナウイルス感染症予防のため、施設内・送迎車・玩具・遊具の消毒をこまめに行っております。 ・活動によって、遊具や設備を移動して工夫しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	13	1	1	・保護者様からの聞き取りや、相談支援専門員からの聞き取り、他施設の利用様子などから計画を作成しています。
	6 個別支援計画には児童発達支援ガイドライン「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容に設定されているか	12	3	0	・保護者様のアセスメントや行動の分析、特性をもとに必要な支援目標を設定しています。
	7 個別支援計画に沿った支援が行われているか	15	0	0	・利用毎の提供記録にて、達成目標の評価を行います。意識しながら日々の支援に当たっています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	3	0	・週ごとに活動を変えています。

	<p>9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか</p>	4	5	6	<p>・障がいや発達特性の有無で児童を分けて考えていませんが、地域にとって開けた事業所でありたいと思っています。 主に近隣地域の方々にご利用いただいているので、施設の利用がないお子様と同じ地域で育っていくためにも、交流の機会は必要かと思えます。本人を取り巻く環境でもある児童の理解がすすんだり、関わりを持ったりすることで、就学後の安心感にも繋がります。 今後、コロナ感染状況を踏まえつつ、利用者様のご意見も参考にしながら検討していきたいと思えます。</p>
保護者への説明等	<p>10 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか</p>	15	0	0	
	<p>11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された個別支援計画を示しながら支援内容の説明がなされたか</p>	13	2	0	
	<p>12 保護者に対して家族支援プログラムが行われているか</p>	8	7	0	<p>・お子様の1か月の振り返りができる「みまもりブック」をご提供しております。 ・個別でのご相談も常時受け付けております。</p>
	<p>13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか</p>	14	1	0	
	<p>14 定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか</p>	10	5	0	<p>・モニタリングや支援計画更新のための面談を行っています。</p>
	<p>15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか</p>	1	5	9	<p>・今年度の実施はできませんでした。 ご希望の声もいただいておりますので、コロナ感染状況に配慮しながら企画できたらと思えます。</p>
	<p>16 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか</p>	11	4	0	<p>・苦情・相談など、いただいた際には記録して保管しております。 お話をいただいたことは、直ちに職員間で共有、必要あれば担当の相談支援専門員にもご報告して対応いたします。 また重要事項説明書に、行政の窓口も明記しております。</p>
	<p>17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか</p>	15	0	0	

	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	0	0	
	19	個人情報に十分注意しているか	15	0	0	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルは事業所の玄関に置いてあり、閲覧自由です。ご希望の場合はお声がけください。 ・自然災害時には「城田小学校」を避難場所となります。今後、避難場所、引き渡し方法、連絡先などを明記したカードを作成・お渡ししたいと考えています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・義務付けられている年に2回（今年度は6月・12月に実施）実施しました。 来年度は、2か月に1回の頻度で実施予定です。（1日の実施ではなく「避難訓練週間」を設けます。）
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	14	1	0	
	23	事業所の支援に満足しているか	15	0	0	
対送迎	24	送迎は正しく行われているか	11	4	0	
療育について	25	今後やってほしい療育はあるか	4	9	2	<ul style="list-style-type: none"> ・子供達の身体、脳は遊びを通じて発達しますので、様々な遊びを取り入れていきたいと考えております。また、コロナ禍で非日常体験の機会を失ったり、コロナ前の日常を失ったり、遊びや経験の機会が少ないため、事業所がその役割を担えるように計画してまいります。
	26	取り入れて欲しい行事等はあるか	1	9	4	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の遊びや、製作など取り入れていきたいと思います。 ・来年度は月間で活動の予定をお知らせできたらと考えております。
提供時間に	27	提供時間に満足しているか	14	1	0	

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年1月26日

公表: 令和4年2月10日

事業所名 ハッピーキッズ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	1フロアなので、パーテーションなどで必要に応じて区切っている。	指定基準の広さはあるが、活動が限られてしまう。また感覚過敏なお子様にとっては、クールダウンできるスペースの確保が課題。2階の個室も活用しながら活動したい。
	2 職員の配置数は適切である	4	0		利用人数や、児童の状態に合わせて今後、増員も必要と考えている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	活動終了ごとに消毒・清掃を行っている。新型コロナウイルス感染症予防のため、遊具・玩具においても活動の合間に消毒作業を行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	毎日の昼礼で当日・翌日の児童の支援や業務について確認している。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	年に一度実施、業務改善に努めている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	自己評価結果をHPIにて公表している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	おおよそ月一度、各職員が研修を受け、内容を共有している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	1		
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1		各児童の策定会議やケース会議で具体的な支援について話し合っている。職員によってバラつきがないように、理解・実践・振り返りを徹底したい。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	週ごとに活動内容を保育士が立案、児発管と協議して考えている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	0		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0		当日の振り返りができない場合は、翌日に打ち合わせをしている。また「ケア記録」の記入も行き、共有できるようにしている。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0		
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0		対象のお子様をお預かりしていない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0		対象のお子様をお預かりしていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1		移行支援の意味合いでは連携できていないため、関係機関全体で、児童の支援を考えていくべきだと思う。事業所単独ではなく、相談支援専門員も含めて連携していけたらと思う。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2		同上
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	児童発達支援センター主催の研修などを受けている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3		新型コロナウイルス感染症の状況に配慮して、今後検討していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	1	伊勢市の自立支援協議会の連携会議に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0		
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	1		家族支援の一環として月毎にお子様の様子をまとめた「みまもりブック」をお渡ししているが、とり実践的なご家庭での支援方法などお伝えする機会を今後検討する。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		新型コロナウイルス感染症予防の観点から実施に至っていない。状況を見ながら今後企画していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4		新型コロナウイルス感染症予防の観点から実施に至っていない。状況を見ながら今後企画していきたい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	1		各種マニュアルは玄関に閲覧可能な状態にして保管しているが、保護者様の中にはご存知ない方もいらっしゃったため、より分かりやすい場所に保管する。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	年に2回実施。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2		食事やおやつ提供がないが、活動の時間帯が給食後の利用になるため、様々なケースを想定しておく必要がある。アレルギー症状に関しては、万が一に備えて、緊急時のマニュアルを作成してある。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。